|  |
| --- |
| 更新用 |

　　　　特定非営利活動法人

日本歯周病学会認定歯科衛生士制度

研修記録簿

（令和4（2022）年4月1日更新）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 認定歯科  衛生士氏名 |  | |
| 登録番号 | 第　　　　　号 | |
| 登録年月日 | 平成  令和 | （西暦　　　）年　　月　　日 |

資格認定のための研修の指針

特定非営利活動法人日本歯周病学会認定歯科衛生士制度では、生涯にわたって研修を継続することが義務づけられています。認定歯科衛生士は、制度に関する施行細則第4条および同施行細則附表2に示された研修単位の加算により、５年間に生涯研修単位５０単位（但しそのうち研修会出席単位３０単位必要）を取得することが義務づけられています。

　この研修記録簿は、研修を行ったことの資料となります。研修の都度、各自でご記入の上大切に保存しておいてください。

（参考資料）

更新の手続

ア. 更新手数料11,000円（税込）をオンライン決済で納入する。

　　イ．次の書類を歯科衛生士関連委員会へ提出する。

　　　①　上記ア．の振込完了画面またはメール（受領書も可）のコピー

　　　②　認定歯科衛生士更新申請書

　　　③　認定歯科衛生士制度研修記録簿

**認定歯科衛生士制度規則（抜粋）**

第 ６ 章　　認定歯科衛生士の更新及び資格喪失

第　16　条　　認定歯科衛生士の資格は認定後，5年毎に更新を受けなければその資格を失う。ただし，施行細則で定める場合は，この限りではない。

2.　認定歯科衛生士の更新を申請する者は，施行細則に定める生涯研修単位基準を満たさなければならない。

第　17　条　　認定歯科衛生士は次の各号のいずれかに該当するときは，委員会および理事会の審議を経て，その資格を喪失する

（1）本人が資格の返上を申し出たとき

（2）歯科衛生士の免許を喪失したとき

（3）学会員の資格を喪失したとき

（4）委員会で認定歯科衛生士として不適当と認めたとき

**認定歯科衛生士制度施行細則（抜粋）**

附表２

認定歯科衛生士更新時における生涯研修単位

１　研修会出席

※１回出席あたりの単位、

※出席したことを証明する参加証等のコピーが必要

1) 日本歯周病学会学術大会　　　　　　　　　　 　 10

2) 日本歯周病学会臨床研修会　　　　　　　　　 　　 10

3) 日本歯周病学会歯科衛生士教育講演Ａ～Ｄ 　 10

　　　　　　　教育講演Ａ － 学術大会〔上記1）〕に併催するもの。学術大会〔上記1）〕との重複申請可

（例　学術大会〔上記1〕）中の歯科衛生士教育講演に出席し、証明がある場合、学術大会10　　単位＋歯科衛生士教育講演10単位の20単位を取得することができる）

教育講演Ｂ － 日本歯科衛生士会と共催のもの

教育講演Ｃ － 日本臨床歯周病学会と共催のもの

教育講演Ｄ － 臨床研修会〔上記2)〕と共催のもの

　　　　 臨床研修会〔上記2)〕との重複申請可

（例　臨床研修会〔上記2〕）中の歯科衛生士教育講演に出席し、証明がある場合 臨床研修会10単位＋歯科衛生士教育講演10単位の20単位を取得することができる）

　 4) 日本歯科衛生学会学術大会　　　 3

5) 日本歯科衛生士会生涯研修会（歯周治療に関するもの）　 3

　　　　 ※教育講演Ｂ〔上記3)〕との重複申請不可

6) 日本歯科医学会総会　　　　　　　　 3

7) 日本歯科医学会各専門分科会の学術大会　　 3

8) 国際学会　　　　　　　　　　　　　　　 5

　　　　 　　　※歯周病に関する学会の学術大会と歯科衛生士に関する学会の学術大会に限る

9) その他の歯周治療研修会　　　　　 5

※大学や病院等が主催する歯科衛生士を対象とした歯周治療に関する研修会で、委員会が事前に認めたもの。但し1年間5単位を上限とする。

２　業績発表

※歯周病学に関連のある業績に限る

※発表1回、講義1回、もしくは論文1編、著書1冊あたりの単位

※発表したことを証明する学会・研修会プログラムや講義予定表等のコピーが必要

1) 上記の1.1)から9)での演者・発表者　　　　　　　　　 10

2) 上記学会会誌及びその他の学術雑誌への投稿論文筆頭者　 10

※「投稿論文」とは査読の入っている学術雑誌に限り認められる。

3)　1),2)の共同発表者　 5

4) 著書 （歯周病学に関連のある著書1冊あたりの単位）

※「著書」出版された書籍であり、商業誌への投稿については認めない。

①筆頭者　　 10

②共同著者 5

5) 上記の1.1)～9)以外の研修会などでの演者・発表者　　 5

6) 大学や歯科衛生士学校などの教育機関における特別講義 5

１．研修会（学術集会・研究会・講演会等）出席記録

　※主催者名について；日本歯周病学会学術大会の場合、日本歯周病学会と記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研修会名 | 主催者名 | 期　　日 | 単　位 | ※出席証明等  添付コピー№ |
| 記載見本  第64回春季学術大会ならびに  歯科衛生士教育講演 | 日本歯周病学会 | 2021年5月21日～6月22日 | 10＋10 | ①　② |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※研修会等に出席した場合は、参加証等のコピーを添付して下さい。なお、コピーには番号を

付けて下さい。

参加証等、コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

　２．業績発表

(1)　学会発表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題名 | 学会名 | 開催地 | 発表年月日 | 共同研究者名 | 単位 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※学会発表をした場合は、抄録等(発表者名の記載のあるもの)のコピーを挿んで下さい。

(2)　論文・著書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 論文・著書題名 | 発表雑誌  又は書名 | 巻・号  ・頁 | 出版社 | 出版  年月日 | 単著・分担  ・共著  （共同研究者） | 単位 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

※論文･著書を執筆した場合は、

論文名・著書名および執筆者氏名の明記のあるページをコピーし挿んでください。　(3)　講　義

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講　　　義　　　名 | 会　　場　　名 | 講義年月日 | 単　位 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※講演･講義した場合は、主催者からの依頼状又は当日のレジュメ等で講演の日時・場所

および講演者氏名の記載のあるものをコピーし挿んでください。

|  |
| --- |
| 備　　　　考　　〔研修会での講義については、出席者の人数等、研修会の内容を説明して下さい。〕 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |